

# タンネウシ



# 04月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館近の地名です

## 道立北方民族博物館 移動展 「森と川の民ウデへ」 ウスリータイガの狩猟文化と工芸

ロシア沿海地方の森で狩猟漁労を行ってきた少数民族、ウデへ。彼らの暮らしを北方民族博物館が所蔵する実物資料や絵画や工芸品から紹介します▶期間：4月28日(土)～5月27日(日)▶場所：姉妹町友好都市交流記念館ロビー※観覧は無料

### 特別講演会

#### 「ウデへの昔の暮らしを読む」

講師は長年にわたりウデへの住むロシア・沿海地方でウデへ語の調査をおこなってきました。そこで出会ったアレクサンドル＝カンチュガさんが書いた自分史からウデへの暮らしを紹介します。▶日時：4月28日(土) 14:00～15:30 ▶講師：津曲敏郎(つまがり・としろう) 北方民族博物館館長▶場所：博物館本館2F 映像展示室▶参加費：無料・要申込

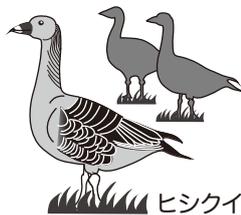


水彩画「老いたシベリアマツの歌」  
I. ドンカイ制作

## 春とり観察会

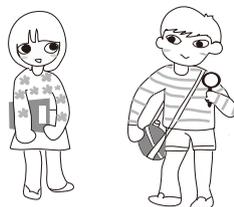
### わたりの季節、ヒシクイの大群を見に行きましょう

春の陽射しに陽炎もゆる小麦畑。遠くシベリアにもどっていくガンたちが大集結しています。しれとこ野鳥の会会長でもある門馬さんの案内で見に行きませんか?▶日時：4月15日(日) 8:30～11:30▶集合場所：博物館(8:15)車で移動します▶講師：門馬恵彦(博物館協力会副会長)▶定員：20名(要申込み)▶参加費：大人200円・中学生以下無料・協力会会員無料※暖かい服装でご参加ください。雨の時は雨具もお持ちください。



## 協力会子弟優先枠あり! 博物館キッズ大募集!

15人限定の特別な体験をしませんか? 年間10回、お友達や博物館の学芸員といっしょに知床を丸ごと体験します。▶対象：町内の小学3年生から中学3年生▶定員：15人(定員をこえた場合は抽選になります。博物館協力会員の子弟が優先されます)▶応募方法：4月中旬に学校を通じて募集するので申し込んでください。



## 残念!

### 協力会員限定ツアー中止

先月号でご案内した「会員限定ツアー エゾシカの大群を見よう!」は、予想外に雪融けが進み、シカが分散してなくなってしまったために中止になりました。申込みいただいた皆様にお詫びいたします。



**退職します!** 20代の頃に、1年間博物館の窓口でアルバイトをしました。毎日、金さん・小泉さん・日置さんが、津軽藩土の慰霊碑のことなど話合っていました。高桑さんがお客さんを案内しては、みんなの笑い声が館内に響きます。「斜里町の知恵袋」のような人たちでした。岸部長や鈴木の均ちゃん、佐野さんが笑顔で迎えてくれました。博物館本館しかなかった頃です。学芸員は、金盛さん・中川さん・合地さんでした。優秀な人たちが出入りして、毎日が驚きでした。中川さんと野鳥の会の皆さんに影響されて鳥見が趣味になりました。博物館の「シマフクロウ」のポスター(森信也撮影)に刺激されました。地元の自然に気づいたのも、自然センター開館時に勤務したのも、元はといえば博物館でのあの1年があったからです。縁あって博物館に戻って来て、少しは恩返しができただけかな?! この博物館で知り合いになった全ての皆さんに感謝しています。ありがとうございました。(平清水)

**休館日** 4月の休館日は、2・9・16・23日の月曜日です。29・30日は開館します。

**編集後記** ソリ遊びの音が響いていた博物館裏のハマナススロープも終了。いつの間にかカケスも山にかえり季節は「春」です。(ひら)